Dクリニック

PRESS RELEASE

2026年11月2日（月）

【男性1,000人へメンズヘルス大規模調査を実施】
悩みがあっても約4人に3人は何もしていない現状
背景には「恥ずかしさ・人目」
ED・排尿とも半数以上が、悪化や限界が来ないと動こうとしない
行動した人も、半数以上が動き出すまでに1年以上かかっていた
Dクリニック「MEN'S HEALTH PROJECT（メンズヘルスプロジェクト）」始動！
「知る」「相談する」「受診する」の3つのステップで、我慢を重ねる前の一歩を後押し

Dクリニック（東京・新宿・札幌・大阪・名古屋・福岡 計6クリニック）では、男性が、体の悩みを抱えても、我慢を重ねてしまいがちな背景を受け、全国の40～79歳の男性1,000人（各年代250人）を対象に、ED（勃起機能の悩み）と排尿の悩みについて、「メンズヘルスに関する意識調査」を実施しました。その結果を受け、Dクリニックでは男性が我慢を重ねる前に動き出せるよう、企業などでのセミナー・セルフチェック（知る）、看護師による相談（相談する）、新たな医療機器の導入（治療する）の3つのステップで取り組む「MEN’ S HEALTH PROJECT（メンズヘルスプロジェクト）」を始動します。



調査の結果、悩みがある人の約4人に3人（ED 73%・排尿74%）は、まだ何もしていないことがわかりました。また、まだ行動していない人は、受診や相談で「恥ずかしさ・人目」を気にしており、特にEDで約3割（29%）、排尿で約5人に2人（41%）にのぼりました。EDでは半数以上（56%）が、「悪化したら」または「行動するつもりはない」と回答し、排尿でも半数以上（55%）が、悪化・漏れ・睡眠不足の「限界が来たら」踏み出せそうと回答しました。一方で、実際に行動した人でも、半数以上が、症状を意識してから最初の行動まで1年以上（平均約1年3ヶ月）かかっていました。

■調査のサマリー

① 多くの人が行動していない： 悩みがある人の約4人に3人（ED 73%・排尿74%）が、まだ何もしていない。

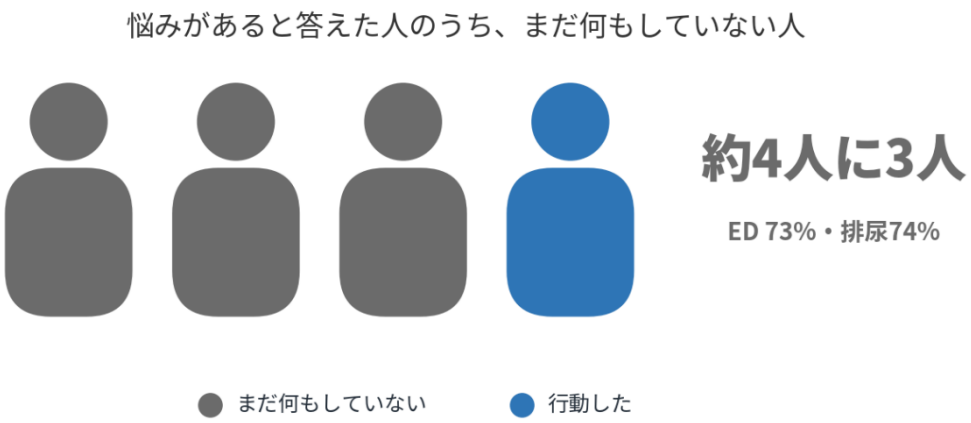
②背景には「恥ずかしさ・人目」： まだ行動していない人のうち、受診や相談で、恥ずかしさや人の目を気にしている人が、EDで約3割（29%）、排尿で約5人に2人（41%）。

③ 限界が来るまで、我慢してしまう： EDでは半数以上（56%）が、「悪化したら」または「行動するつもりはない」と回答。排尿でも半数以上（55%）が、「悪化・漏れ・睡眠不足の限界が来たら」踏み出せそうと回答。実際に動いた人も、EDでは約5人に1人（22%）、排尿では約半数（47%）が、限界や悪化がきっかけ。

④行動には時間がかかる： 行動した人の半数以上（ED 55%・排尿56%）が、最初の行動まで1年以上。気が重い人は平均約1年8ヶ月、気が軽い人は約7ヶ月と、約1年の差が。

■POINT① 悩みがあっても、約4人に3人は「まだ何もしていない」（ED 73%・排尿74%）

EDや排尿の悩みがあると答えた人のうち、受診や相談などの行動をまだ何もしていない人は、EDで73%、排尿で74%と、約4人に3人にのぼりました。悩みがあっても、受診も相談もせず、そのまま過ごしている人が多数派で、我慢が日常になっていることが伺えます。



■POINT② 受診や相談で気にするのは「恥ずかしさ・人目」まだ行動していない人に、受診や相談をするうえでの不安を尋ねたところ、「悩みを話すのが恥ずかしい」「家族や知り合いに知られそう」、EDでは「医師に呆れられそう」、排尿では「気にしすぎだと思われそう」といった、恥ずかしさや人にどう思われるかを気にしている人が、EDで約3割（29%）、排尿で約5人に2人（41%）にのぼりました。体の悩みを、人に話せないまま、ひとりで抱えて我慢している人が少なくないことが分かりました。

恥ずかしさ・人目を気にしている人

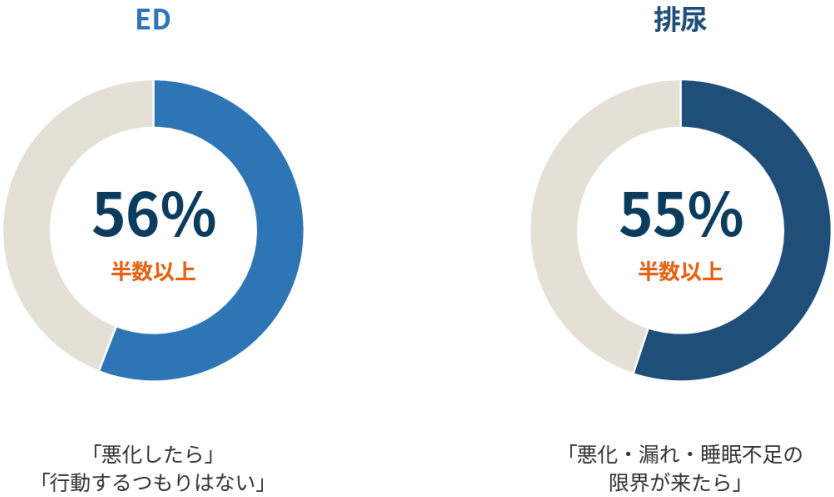
（話すのが恥ずかしい／知られそう／どう思われるか）　まだ行動していない人・複数回答



■POINT③ 踏み出す前に「限界」を待つ。ED/排尿ともに半数以上（ED56%、排尿55%）

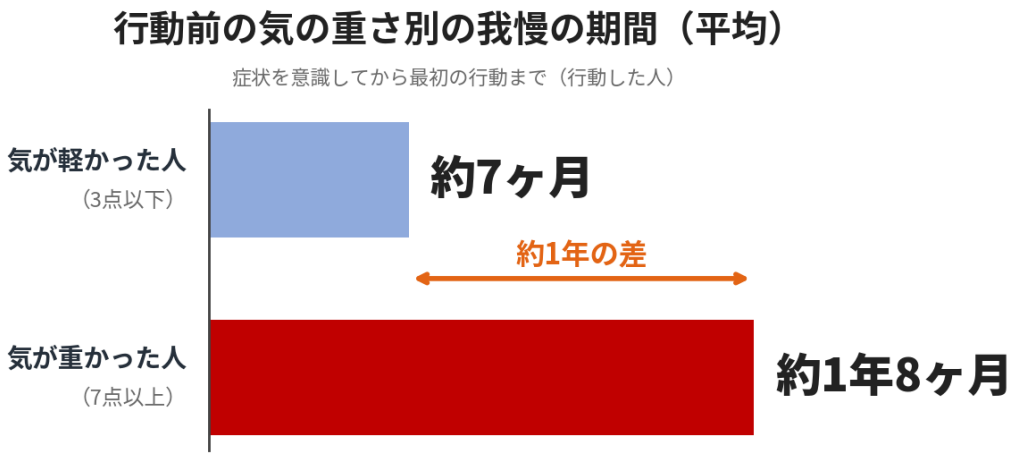
それでは、まだ行動していない人に、「何があれば踏み出せそうか」を尋ねたところ、EDでは半数以上（56%）が、「悪化したら」または「行動するつもりはない」と答えました。排尿でも、半数以上（55%）が、「悪化したら」「人前で漏れそうになったら」「睡眠不足が限界になったら」など、症状の悪化や限界を挙げています。実際に動いた人でも、EDでは約5人に1人（22%）が症状の悪化を、排尿では約半数（47%）が限界や悪化を、きっかけにしていました。どちらの悩みも、悪化や限界まで我慢してから動く人が少なくないことが伺えます。

「何があれば踏み出せそうか」と聞いたときの回答（まだ行動していない人）



■POINT④ 動いた人も、半数以上が1年以上かかっていた(ED 55%・排尿56%)。気が重い人は平均約1年8ヶ月、気が軽い人は約7ヶ月

我慢の期間について、具体的に調査しました。EDや排尿の悩みで行動した人に、症状を意識してから最初の行動(相談・受診・情報収集など)を起こすまでの期間を尋ねたところ、半数以上(EDで55%、排尿で56%)が、1年以上かかっていました。行動する前に、受診や相談に踏み出すことにどれくらい気が重かったかを、10点満点で尋ねたところ、気が重かった人ほど、動き出すまでに時間がかかる傾向がありました。最初の行動までにかかった期間は、気が重かった人(7点以上)で平均約1年8ヶ月、気が軽かった人(3点以下)で平均約7ヶ月と、約1年の差がありました。気持ちの重さが、そのまま我慢の長さになっているとみられます。気の重さを抱えたまま、動けない時間が、1年、2年と積み重なっていることが分かりました。



■調査概要

調査名:メンズヘルスに関する意識調査
調査対象:男性40～79歳1,000人(40代・50代・60代・70代 各250人)
調査方法:インターネット調査
調査期間:2026年10月実施

■MEN’S HEALTH PROJECT(メンズヘルスプロジェクト)

調査では、悩みがあっても動いていない人が多く、その背景に恥ずかしさや人目への不安があること、動いた人でも半数以上が1年以上かかっていることが分かりました。Dクリニックは、男性が我慢を重ねる前に、知り、相談し、治療に進める環境を整えるため、「知る」「相談する」「治療する」の3つのステップで、「MEN’S HEALTH PROJECT(メンズヘルスプロジェクト)」を始動します。職場でのセミナーやセルフチェックで男性の健康課題を知り、男性看護師に電話で気軽に相談し、必要に応じて治療へ。「最初の一歩」から治療までを、ひとつの流れで後押ししていきます。

お問合せ先:pr1@angfa.jp

【STEP① 知る：セミナー・セルフチェック】

企業・団体向けセミナー

・対象：企業・自治体・各種団体

・内容：男性の体の変化と、男性更年期・ED・排尿の悩み

・形式：対面／オンライン

セルフチェック

・対象：ED・排尿障害・男性更年期

・方法：「我慢に、幕を。」プロジェクト特設LP上で11月中旬頃展開予定

【STEP② 相談する：相談サービス】

来院前：男性看護師による無料電話相談を実施中。来院前に、お悩みや治療について気軽に相談でき、電話で悩みを整理してから、来院・治療へ進めます。

無料電話相談：https://menshealth.d-clinicgroup.jp/yoyaku/#tel

特徴

①男性医師・男性看護師が対応のため、話しにくい悩みも話しやすい

②完全個室で、プライバシーに配慮した状態で医師に相談。治療内容によっては、オンラインでの対応も可能

③ED・排尿・男性更年期すべての悩みをまとめて相談できる

【STEP③ 治療する：治療の選択肢】

新機種・新製剤の導入で、EDや排尿治療ともに選択肢をさらに広げます。

ED（勃起の悩み）の治療

・レノーヴァ（ED低出力衝撃波治療・第2世代）

https://menshealth.d-clinicgroup.jp/menu/renova/

・モアノヴァ・プロ（ED低出力衝撃波治療・新機種）：2026年11月4日 開始予定

・エレマックス プレミアム（ED治療・新製剤）：2027年1月導入予定

尿の悩みの治療

・スターフォーマー プロ（頻尿・尿もれ／磁気刺激）

https://menshealth.d-clinicgroup.jp/menu/starformerpro/

■Dクリニックについて

東京・新宿・名古屋・大阪・福岡・札幌で総合的な健康管理・予防医療において、360万人の診療実績を有する※6つの専門クリニックです。NPO法人F.M.L.にて最新医療の研究をもとに、同一の診療プロトコルを共有しています。内科、皮膚科、整形外科、メンタルヘルス(精神神経科)等の各分野の専門医が連携し、生活習慣病の予防から美容医療まで、患者様の心身の健康をトータルでサポートするために、最新の医学情報を共有しながら、研究を重ね、治療に活かし、患者様一人ひとりに最適な医療を提供するトータルヘルスケアを実践しています。

https://www.d-clinicgroup.jp/clinic/

※Dクリニックグループ来院実績数1999年7月～2026年3月月累計